

なし

発行年	1910
URL	http://hdl.handle.net/10114/618

第二百三十七條

(理由) 既ニ説明シタル如ク建物ノ築造觀望及ヒ明取窓ニ關スル規定ハ只一定ノ慣習ナキ場合ニ應スルノ規定ニシテ決シテ之ヲ以テ慣習ヲ打破スルノ精神ニ依ラス以下ニ條ノ規定ト其趣ヲ異ニス

(理由) 本條ハ既成法典附屬編第二百六十一條第一項乃至第二項ニ左ノ修正ヲ加ヘタリ

一、地畝ハ適當距離ナリ覆蓋ナキモ水溜ニ比スレハ危險少キヲ以テ總テ其距離ヲ二尺トセシ
二、厠坑ハ從來疆界線ニ接シテ之ヲ穿ツコト多シ俄カニ改メテ其距離ヲ六尺トスルハ著シク慣習ニ悖リ人民ニ非常ノ不便ヲ來スノ虞アルヲ以テ之ヲ三尺トセリ而シテ肥料溜ニ至リテハ用水溜及ヒ下水溜ト等シテ其距離ヲ六尺トスヘキモノト信シテ之ヲ厠坑ト區別シタリ
三、原文ニハ石樋ニ付テノ規定セリト雖モ水樋陶樋等ハ總テ一層危險ニシテ又損害ヲ生スルハ虞多キヲ以テ單ニ水樋ト曰ヒ以テ其材料ヲ區別セサルコトセリ

第二百三十八條

(理由) 本條ハ既成法典附屬編第二百六十一條第一項但書及ヒ第四項ヲ以テ一條ト爲シタルナリ蓋シ規定ニ範圍ヲ汎クシテ一切ノ場合ニ適合スヘキモノト爲ス必要トシテハナリ

同編第二百六十三條ヲ削除シタルハ此等ノ工事ニ付テノ規定ハ大ニ公益ニ關スルカ故ニ強制的ノ執行スヘキモノニシテ決シテ慣習ニ一任スヘキモノニアラザレハナリ
同編第二百六十四條ハ無用ノ規定ナルヲ以テ之ヲ削除セリ

第二節 所有權ノ取得

(理由) 既成法典ニハ財産取得編ナル一編ヲ設ケ其中ニ物權及ヒ債權ノ取得ノ共通ナル規定アリ又所有權若クハ債權ノ取得ニ關スル規定アリト雖モ本案ニ於テハ財産取得ニ關シテ特ニ一編ヲ設ケサルヲ以テ此點ニ付テハ自ラ既成法典ト其體裁ヲ異ニセサルコトヲ得ス即チ物權取得ノ通則ハ本編第一章ニ於テ之ヲ規定シ或物權ノ取得ニ特別ナル規定ハ本編第二章以下ニ於テ之ヲ掲ケタリ而シテ債權ノ取得ニ關スル規定ハ之ヲ第三編中ニ掲ケタルコトセリ

本節ハ即チ此方針ニ基キ所有權取得ノ方法ヲ規定シタルモノナリ尤モ所有權取得ノ場合ハ本節ノ外ニ其規定ナキ非スト雖モ他ノ條項中ニ於テ規定スルコト至當トスヘキモノハ之ヲ省キ此ニハ自ラ特種ノ性質ヲ有スルモノノミヲ規定セリ

既成法典ニ於テハ本節中ニ掲ケル所有權ヲ取得ノ方法ニ特別ノ名稱ヲ附シ各々章ヲ分チテ之ニ干スル規定ヲ掲ケタリト雖モ本案ニ於テハ其必要ヲ認メサルヲ以テ總テ之ヲ附レリ蓋其條數多カラサルト遺失物及ヒ埋藏物ニ干スル細則ハ行政上ノ便宜ヲ計リテ之ヲ特別法ニ讓リシコトヲ欲シタレハナリ

左ニ既成法典中ニ於テ削除シタル條文及ヒ其削除ノ理由ヲ説明スヘシ
財産取得編第二章第一項ノ規定ハ狩獵捕漁ノ權利ノ行使及ヒ漂流物遺失物ノ取得ハ特別法ヲ以テ之ヲ定ム可キコトヲ示シタルヲテ放テ之ヲ明文ニ記載スルノ必要ナカレバ又其第二項ノ如キ

ハ民法ノ範圍内ニ屬セサルモノトス。同第四條モ亦特ニ之ヲ掲クルヲ要セス。蓋シ權利ノ拋棄ノ推定スヘカラサルコトハ固ヨリ論ヲ俟タサレハナリ。同第七條乃至第十二條ノ削除シタル理由ハ本案第三十四十二條ノ說明ニ依リテ自明ナリ。同第十三條ハ第三條第一項ヲ削除シタルト同一ノ理由ニ因リ特ニ之ヲ設クルノ必要ナレ。同第十四條モ亦之ヲ掲クルヲ要セス。蓋シ添附ノ因リテ所有權ヲ取得スルハ法律ノ規定ヲ俟テ始メテ生スヘキ事實ナルヲ以テ苟モ閉合シタル物ノレテ分離スルコトヲ得ヘキトキハ其各物ノ所有者ハ其分應ヲ請求シ且ツ損害ヲアレハ其賠償ヲ請求スルヲ得ヘキコト論ヲ俟タサレハナリ。同第十六條、第十九條及ヒ第七條第四項ハ本案第二百四十八條ノ規定アルヲ以テ之ヲ存スヘキ必要ヲ見ス。同第二十一條及ヒ第二十二條ハ當然ノ事キレノミナラス第二十三條ハ如キハ殆ノ適用ノ場合ヲ生スヘカラサルヲ以テ之ヲ削除セリ。又第二十三條第二項以下ヲ削リタル理由ハ本案第二百四十一條ノ說明ニ依リテ自明ナリ。ヘレ

第二百三十九條

(理由) 本條ハ所謂先占ノ場合ヲ規定シタルモノナリ。先占ハ無主物ノ所有權取得ニシテ他人ノ所有物ヲ取得スルモノニ非ラス。故ニ本案第九十二條以下ノ場合ト大ニ其性質ヲ異ニス。是ニ特ニ本條ヲ設ケタル所以ナリ。第一項ハ財產取得編第三條ニ字句ノ修正ヲ加ヘタルモノニシテ最モ先占者ナル文字ヲ削リタルハ無主物ナル語ト重複スルヲ以テナリ。又取得ノ方法、ナリ、云フカ如キハ剛力法又ハ體裁ニ反スルヲ以テ之ヲ改メタリ。第二項ハ財產編第二十二條第二項ノ當ルモノニシテ之ノ規定ヲ設ケ

ントセハ本條ニ於テスルヲ以テ最モ至當ナリト信ス

第二百四十條

(理由) 遺失物ニ關スル詳細ナル規定ハ之ヲ特別法ニ譲ルヲ便トス。蓋シ其規定ニシテ行政上ノ手續ニ關スルモノ極メテ多クハ可キヲ以テナリ。然レトモ遺失物ノ所有權ノ取得ニ付テハ之ノ民法ニ規定スルヲ至當トス。凡ソ遺失物ヲ拾取シタル者カ所有者ヲ求ムルノ手續ヲ盡シタル後一定ノ期間ノ經過シタルモ尚ホ所有者ノ知レサル場合ニ於テ其所有權ヲ取得スルハ固ヨリ其當ヲ得タルモノトス。唯其期間ノ長短ニ付テハ諸國ノ法律其異ナリ。一ニセス我現行法ニハ之ヲ一年トセリ。然レトモ先年議會ニ提出セラルタル遺失物ニ關スル法律案ヲ見ルニ右ノ期間ヲ六月ト定メタリ。本案ニ於テハ主務官廳ノ意見ハ其當ヲ得タルモノナル可キヲ信スルヲ以テ其意見ニ從ヒ本條ノ如キニ規定セリ。而レテ漂流物ニ關シテ明文ヲ置カサルハ之ヲ以テ遺失物ト爲ス可キヲ以テナリ。

第二百四十一條

(理由) 本條ハ財產取得編第六條及ヒ第二十三條ノ修正ヲ加ヘタルモノナリ。既成法典ハ先占及ヒ添附ノ兩章ニ於テ埋藏物ニ關スル規定ヲ掲ゲ埋藏物發見者カ其所有權ヲ取得スルハ先占ニ因ルモノトシ包藏物ノ所有者カ埋藏物ヲ取得スルハ添附ニ因ルモノト爲シタリ。然レトモ埋藏物ハ本來無主物ニ非ラサルヲ以テ先占ニ關スル規定ノ適用ヲ受テキモノニ非ス。又埋藏物ト包藏物トハ主從ノ關係ヲ有スルモノニ非サルヲ以テ添附ニ關スル規定ハ其場合ニ之ヲ適用スヘキモノニ非サルナリ。本案ニ於

テハ埋藏物ノ所有權ヲ取得スルハ一ニ便宜法ノ規定ニ因リモノトスルヲ見解ヲ採リ其所有權ノ發見者ノ屬スルヲ以テ原則ト爲シ他人ノ物ノ中ニ於テ之ヲ發見シタル場合ニ限リ發見者ノ包藏物ノ所有者ト之ヲ折半スヘキモノト定メタリ是レ羅馬法以來ノ立法例ニ倣ヒタリモノニ外リナリ又既成法典ハ本條但書ノ場合ニ於テ偶然ニ埋藏物ヲ發見スルヲ以テ其所有權ヲ取得スルニ必要ナル條件ヲ爲セリ是レ蓋シ猥リニ他人ノ物ヲ搜查スルノ弊ヲ防止セシト意ニ出テタルモノナラシ然レトモ斯ルナル弊害ヲ防カニハ他ノ其方法アリ最テ偶然ノ發見ヲ以テ所有權取得ノ條件トナスコトヲ要セサルモノノ認ムルハ果シテ何レノ時ニ於テスヘキヤ既成法典ニ於テハ場合ニヨリ發見後二年若クハ二十年ノ經過スルコトヲ必要トシタレトモ此等ノ期間ハ稍ヤ未キニ過キ遺失物ノ規定トモ權衡ヲ失フモノトス故ニ本條ニ於テハ埋藏物所有者ノ現出ヲ促カスヘキ相當ノ手續ヲ爲レタル後六ヶ月ノ期間ヲ經過シタルトキハ原所有者ヲ以テ其權利ヲ主張スルコトヲ得シレモナルモノトシ前條ノ規定ヲ適用ス可キモノト爲シタルナリ

第二百四十二條

(理由) 本條以下ハ所謂添附ニ關スル規定ナリトス既成法典ニ於テハ不動產上ノ添附ノ動產上ノ添附トテ區別レテ詳細ナル規定ヲ設ケタリ而レテ其不動產上ノ添附ニ關スル規定ニ取八乃至二(三)ハ各種ノ場合ニ于スルカ爲メ詳細ヲ欲セテ却テ缺漏ニ失スルノ虞ナキ能ハス故ニ本條ヲ以テ之ヲ包括的ノ

規定ニ改メタリ

第二百四十三條

(理由) 本條ノ規定ハ財産取得編第十五條第一項ト其趣意ヲ異ニセス唯原文但書ハ本條第二百四十八條アルヲ以テ之ヲ刪除シタリ

同條第二項及ヒ第三項ハ物ノ主從ヲ定ムヘキ標準ヲ示シタルモノニシテ羅馬法以來諸外國ノ法律ニ於テ多ク見ル所ナリ雖モ此標準ニ依ルトキハ往々公平ナル結果ヲ生ズルコト能ハサル場合ナキニ非ス故ニ本條ニ於テハ獨逸民法草案ノ例ニ倣ヒ裁判所ノ認定ニ依リテ物ノ主從ヲ定ムヘキモノト爲シ右兩項ハ之ヲ削除セリ

第二百四十四條

(理由) 本條ノ規定ハ財産取得編第十七條ニ一ノ修正ヲ加ヘタルモノナリ即チ原文「平等ノ權利」ニテ云々タルヲ本條ニ於テハ之ヲ改メテ附合ノ當時ニ於ケル價格ノ割合ニ應ジテ改メタリ是レ前條ニ於テ財産取得編第十五條第二項ノ規定ヲ採用ヒサシメ結果ニ外ラフス蓋シ既成法典ニ於テハ同條掲タル標準ニ依リテ物ノ主從ヲ區別スルコト能ハサル場合ニ始メテ合成物ノ共有ヲ生ズヘキヲ以テ其共有ノ割合ハ勢ヒ平等ナラサルヲ得ス然レトモ本條ニ於テハ物ノ主從ノ區別ハ裁判所ノ認定ニ一任シタルヲ以テ裁判所ハ價格ノ不均ナルニ拘ハラズ主從ノ區別ヲ立テサルコトナレトモセザル故ニ斯カル場合ニ於テハ其價格ノ割合ニ應ジテ之ヲ共有スルモノト定ムル外ナキナリ

第二百四十五條

(理由) 本條ハ財産取得第十八條ニ該當スルモノニシテ其第二項ノ規定ハ此ニ之ヲ採用セス是亦本
案ニ於テ物ノ主從ヲ區別スルノ標準ヲ定メサル結果ナリトス

第二百四十六條

(理由) 本條ハ所謂製作ニ關スル規定ナリトス既成法典ニ於テハ製作ヲ以テ物ト勞力ト相附合シタル
ノ結果ト認メタルカ爲メ添附ノ章ニ於テ之ヲ規定ヲ掲ゲタリト雖モ其當ヲ失スルコト論フ俟タズ抑
モ或人カ他人ノ材料ニ工作ヲ施シタル場合ニ於テ其加工物ノ所有權ハ果シテ何人ニ歸ス可キモナ
ルニ付テハ立法機關ニシテ或ハ材料ノ所有者ヲシテ加工物ノ所有權ヲ取得セシムルモノアリ或
ハ勞力ニ重ク置キ加工者ヲシテ加工物ノ所有權ヲ取得セシムルモノアリ或ハ加工物ノ原狀ニ復セルコト能ハ
サルトキ又ハ加工者ノ善意ナルトキニ限リ加工者ヲシテ加工物ノ所有權ヲ取得セシムルモノアリ蓋
シ加工者ヲシテ加工物ノ所有權ヲ取得セシムルノ主義ハ物ノ勞力ヲ加フルルハ故ニ一ノ新ナル物
ヲ生ズルノ思想ニ出デタルモノニ外ナラズ然レトモ加工ノ因リテ常ニ新ナル物ヲ生ズルハ事
實ニ反スルコトアルヲ免レス故ニ製作ナル文字ヲ改メテ工作トセリ而シテ其加工物ノ所有權ニ關ス
ル原則ニ至テハ既成法典ノ規定ヲ以テ其當ヲ得タルモノトシ本條第一項ニ之ヲ採用セリ唯其但書ノ
場合ニ於テ手間費ナル文字ヲ改メテ工作トシ四ノ生レハハ價格云々ト爲シタルハ加工者ニ於テ加工
物ノ所有權ヲ取得スルニハ實際ノ増價額ニ依ルヲ至當ト認メタルヲ以テナリ又本條第二項ハ原文第

第二百四十七條

三項ト大差ナキヲ以テ之ヲ説明スルノ必要ヲ見ス

第二百四十八條

(理由) 本條第一項ノ規定ノ正當ナルコトハ論フ俟タズ蓋シ前五條ノ場合ニ於テ物ノ所有權ノ消滅ス
ル所以ハ物ノ滅失シタルカ爲メナルヲ以テ其物ノ上ニ存セル他ノ權利モ亦所有權ト同シク消滅セサ
ル可カラサルヲ以テナリ然レトモ若シ明文ナキトキハ疑義ヲ生ズルコトナレトセス故ニ竊逸民法章
案ニ敬ヒテ茲ニ之ヲ掲ゲタリ第二項ハ必要ノ制限ヲ定メタルモノニシテ第一項ノ規定アル以上ハ之
ヲ明示スルノ已ムヲ得サルコト最モ説明ヲ要セサル所ナリ

(理由) 既成法典ニ於テハ添附ノ各種ノ場合ニ付テ償還又ハ賠償ノ責アルコトヲ規定セリト雖モ本條
ニ於テハ便宜上其規定ヲ一括シ本條ニ之ヲ掲ゲタルコト爲セリ是固ヨリ規定ヲ要スル事ナリト雖モ
一ニシテ其規定ヲ設ケル以上ハ何レノ場合モ不當ノ利得又ハ不正ノ所爲ノ責任ニ外ナラサルヲ以テ其
各條ニ讓ルヲ便利トス

第三節 共有

(理由) 共有ハ所有權ノ一狀態ニ外ナラス故ニ本章ノ一節トシテ茲ニ之ヲ規定セリ既成法典ハ財産編
第三十七條乃至第四十條ニ於テ共有ニ關スル規定ヲ掲ゲ更ニ財産取得第十四章第五節ニ於テ共有
物ノ分割ニ關スル詳細ノ規定ヲ掲ゲタリ本條ニ於テハ前導ノ理由ニ依リ共有ニ關スル一般ノ規定ハ

總テ之ヲ本節ニ掲グルコト、爲セリ

左ニ既成法典中ノ削除スル條文及ヒ其削除ノ理由ヲ示サン

財産編第三十七條第二項ハ以通常ノ事實ヲ示シタルニ過キス蓋レ共有物ノ果實ヲ離キ之ヲ分割セサ

ル間ハ各共有者ノ持分ニ應レテ其共有ナルハキハ論フ俟タズ然リト雖モ共有者ノ又何時タリトモ共有物ノ分割ヲ請求スルコトヲ得而シテ果實ノ如キハ其物ノ性質上及ヒ共有者相互ノ便利ノ爲直

チニ其分割ヲ爲セルモノト見ルコトヲ得ヘレ原文ハ決シテ果實ノ共有ヲ禁ズタル命令的規定ニ非サルコト疑フ容レズ果シテ然ラハ特ニ此ノ如キ規定ヲ設タルノ必要ヲ見サルナリ同編第二十八條第一

項末段及ヒ第二項モ亦當然ノ事ナルヲ以テ之ヲ削レリ又同編第四十條ハ共有ニ關スル規定ニ非ラズ本條ニ於テハ幾ニ修正ヲ加ヘテ本章第一節中ニ之ヲ掲ケザリ(二〇八)

財産取得編第四百八條ノ規定ハ不必要ニレバ且誤解ヲ生レ得ヘキヲ以テ之ヲ削レリ蓋レ分割ハ其意

思表示ノ確定ナルコトヲ要スルハ論フ俟タズト雖モ普通所謂明示ニタルコトヲ必要トスヘキ理由ヲ見サレハナリ同編第四百九條第一項ハ當然ノ事ナルヲ以テ之ヲ置クノ必要ヲ見ス其第一項第一號ハ苟

モ法定代理人ノ選任ナキ間ハ一般ノ規定ニ從ヒ分割ヲ取消スコトヲ得ヘキモノトシテ足レリトス又其第二號及ヒ第三號ノ場合ハ本條第二百五十八條ノ規定ニ從ヒ同編第四百十條第四百十一條

ハ分割ノ手續ニ關スルモノニシテ特別法ノ規定ニ讓ルヲ便利トス又第四百十一條本文ハ規定ハ合意上ノ分割ニ適用スヘキモノトシテハ殆ド其意義ナク又裁判上ノ分割ニ付テハ本條第二百五十八條ニ

於テ裁判所ノ職權ヲ明定シタルヲ以テ原文ノ如キ規定ヲ存スルノ必要ヲ見ス又其但書上段ノ如キハ

當然ノ事ニシテ敢テ明文ヲ要セス下段ノ規定モ其必要ヲ見サレキモノナラズ本條第二百五十八條但書ノ規定ニ依リ其場合ニハ實際裁判所ニ於テ購買ヲ命スヘキヲ以テ共ニ之ヲ削除セリ如キ條權者タル

共有者ノ權利ハ本條第二百五十三條第二百五十四條及第二百五十九條ノ規定ニ依リ十分ニ保護セラルヘキヲ以テ此點ニ付テモ原文ヲ存スルノ必要ヲ見サルナリ同編第四百十二條ノ規定ハ通則ノ適用

ニ依リ特ニ之ヲ設クルヲ要セス又第四百十四條ハ本條第八條ノ規定アルヲ以テ特ニ之ヲ掲グル必要ナキモノナラズ共有者中ニ無能力者又ハ不在者アルトキハ裁判上ノ分割ヲ生スヘキヲ以テ之ヲ削

除セリ第四百十六條ノ規定ハ共有ノ通則トシテハ其當ヲ得サルコト明ナルヲ以テ同シク之ヲ削

同編第四百十七條ハ分割ヲ以テ認定ノ效力ヲ有スルモノト爲スルノ規定ニシテ素ト一ノ假想ニ出デタルモノニ過キス若シ他國民法ノ如ク遺產和積ニ付テハ平分主義ヲ採ルトキハ或ハ此ノ如キ擬制ヲ設

ルノ必要アル可シト雖モ共有ノ通則トシテハ散ア之ヲ設クルノ必要ナキモノナラズ分割者ノ一人ヲ保護セント欲シテ却テ抵當權者其他ノ第三者ヲ害スルノ結果ヲ生スヘク又遺產擔保ノ責任ニ關スル

次條ノ規定等トモ抵觸スルニ至ルヘシ故ニ本條ニ於テハ反對主義ヲ採用シ原文ヲ削除セリ又同編第四百十九條ハ債權讓渡ノ效力ニ關スル每個ナリトス取テハ八案ニ簡成法典ニ於テ此等例ヲ設ケ

タル所以ハ蓋シ分割ヲ以テ權利ノ目的ヲ以テスルモノト爲サズ從テ分割者間ニ損益ノ差別ヲ生スル

如キ不公平ナカラスコトヲ欲シタルニ外ナラス今若シ相續ニ關シテ若干主義ヲ採ラハ其場合ニ付キ或ハ此ノ如キ變例ヲ設ケルノ必要アルヘシト雖モ通常ノ場合ニ付テハ此ノ如キ變例ヲ設ケルノ必要アルヲ見ス且夫分割ノ當時ニ過リテ實力ノ有無及ヒ限度ヲ明ニスルハ往々困難ナルモノト謂ハサルヲ得ス已ニ分割ヲ以テ賣買ノ同レク權利移轉ノ行為トスル以上ハ獨リノ債權ニ付テハ特例ヲ掲グルハ其當ヲ得ス故ニ原文ハ之ヲ削除セリ

同編第四百二十條前段ハ本案總則編ノ規定ヲ以テ足レリトシ最テ之ヲ置クノ必要ヲ見ズ蓋シ分割ノ法律行為タルコトハ自ラ明カナルヲ以テナリ又其後段ノ缺損ニ關スル規定ハ公平主義ノ相續法ニ於テハ或ハ至當ノ規定ナルヘシト雖モ已ニ一般ノ法律行為ニ付キ之ヲ以テ其取消ノ一原因ト爲サ共所有物ノ分割ニ付テモ亦通則トシテ之ヲ認ムルハ極メテ其當ヲ得サルモノト信スルヲ以テ原文ハ之ヲ削除セリ

同編第四百二十二條ノ規定モ亦法律行為ノ通則アル以上ハ最テ之ヲ設ケルノ必要アラサルナリ

第二百四十九條

(理由) 本條ハ財産編第三十七條第二項ニ修正ヲ加ヘタルモノナリ原文「持分ノ均不^ハ均^ハ、拘^ハハス」アルヲ改メテ其持分ニ應^レシメ、使用^ノ爲^メシタルハ持分ノ少^キ共^ニ有^ル者ト雖モ尙モ共有物ノ全部ニ付キ持分ノ多^キ者ト同一ノ使用權ヲ有スルモノトスルハ極メ不公平ナルカ爲メナリ原文「販賣或ハ然^ルヲサルヘシト雖モ極メテ不明瞭タルヲ免カレヌ故ニ此ニ原則トシテ共有者ノ使用權ノ範圍ハ其持分ニ

應^ルモノト爲シタリ

第二百五十條

(理由) 本條ハ財産編第三十七條第二項ノ本文ニ毫モ異ナル處ナシ而シテ其但書ヲ削除シタルハ本案ニ於テ推定スト云ヘシ文字ヲ用ニルトキハ必ス反對ノ證據ヲ許ス意ナカ爲メナリ

第二百五十一條

(理由) 本條ノ規定ハ財産編第二十八條第一項ニ該當スルモノニシテ特ニ之ヲ設ルノ必要ナキカ如シト雖モ第二百四十九條及ヒ殊ニ次條ノ規定アル爲メ或ハ疑難ヲ生セリト恐レ之ヲ置クトツ至當ト信シタリ

第二百五十二條

(理由) 財産編第三十七條第四項ニ依ルトキハ保存行為ヲ除ク外共有物ノ管理ニ關スル行為ノ總^ニ共有者合同^ノヲ以テ之ヲ爲スニ非サレハ其效力ナキモノトセリ然レトモ此ノ如クナルトキハ許多ノ場合ニ於テ不便ナルヘキヲ以テ本條ノ如クニ修正セリ而シテ前條ノ場合ヲ除ク外ト云ヘル數字ヲ加ヘタルハ管理ナル文字ノ意義流博ナルカ爲メ或ハ前條ノ場合ヲ含ムモノトスルノ惡アルカ爲メナリ

第二百五十三條

(理由) 本條第一項ハ財産編第三十七條第五項ニ同レ第二項以下ハ債權者タル共有者ノ權利ヲ確保スルニ付キ必要ト信シタルヲ以テ或三ノ立法例ニ倣ヒテ之ヲ置ケリ

第二百五十四條

(理由) 本條ハ財産編第三十七條第六項ニ修正ヲ加ヘタルモノニシテ、原文ニ於テハ前數項ニ揚グル事項ニ付キ別段ノ合意ヲ爲スヲ得ヘキコトヲ示セタルニ過キス然レトモ此點ニ付テハ敢テ明文ヲ設クルノ必要ヲ見ス唯規定スヘキハ其契約カ各共有者ノ特定承繼人ニ對シテ效力ヲ生スル事ナリトス但登記法ニ於テ此等ノ契約ノ雖モ之ヲ登記スヘキモノトスルコト必要ナルヘレ本條、即チ此目的ヲ以テ原文ヲ修正シ獨逸民法第二議會草案ニ於テ各種ノ場合ニ付キ規定スル所ヲ一括シテ汎ク共有者ノ一人カ本條ノ規定ニ依リテ共有物ニ付キ他ノ共有者ノ對シテ有スル債權ハ其特定承繼人ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得ヘキ旨ヲ明セリ今若シ本條ノ規定ニキトキハ他ノ共有者ノ對シテ債務ヲ負擔スル共有者ハ持分ノ讓渡ヲ爲スニ依リテ相手方ノ債權ヲ有ス無實ニ歸セシムルコトヲ得ヘキナリ

第二百五十五條

(理由) 本條ノ規定ハ諸國ノ法典ニ其例ヲ見ル所ナリ、雖モ若シ之ヲキキ持分ヲ拋棄シタル共有者又ハ相續人ナクシテ死亡シタル共有者ノ持分ハ何人ニ歸屬スヘキヤニ付キ疑ヲ生ス可キヲ以テ之ヲ置ケリ殊ニ不動產共有ノ場合ニ於テ若シ本條ノ如キ規定ナキトキハ本案第二百三十九條第二項ノ規定アルカ爲メ國ヲシテ共有者タラシムル結果ヲ生シ甚不便ナルヘレ

第二百五十六條

(理由) 本條第一項及ヒ第二項ハ財産編第二十九條第一項乃至第三項ニ字句ノ修正ヲ加ヘタルモノニ

外ナラス共有ハ往々ニシテ紛議ノ基ト爲リ共有者ノ一致鞏固ナルニ非サレハ共有物ノ改良ハ到底望ムヘカワサルヲ以テ其一人ノ請求アルトキハ分割ヲ爲スヘキモノトスルハ殆ト諸國ノ法律ニ認ムル所ナリ

第二百五十七條

(理由) 本案第二百八條及ヒ第二百二十九條ニ揚グル共有物ハ其性質上分割ヲ許スモノニ非ス、雖モ若シ明文ヲ以テ之ヲ禁セサルニ於テハ前條ノ規定ニ適用セラルヘキニ依リ特ニ本條ノ規定ニ設ケ

第二百五十八條

(理由) 凡ソ裁判上ノ分割ヲ必要トスルハ分割ニ付キ共有者ノ一致セザル場合トス此場合ニ於テ裁判所ノ職權ヲ定ムルコトニ付テハ諸國ノ法律其原則ヲ異ニス本案ニ於テハ分割ノ方法及ヒ割合ニ付キ成ルヘク裁判所ノ職權ヲ制限セサルヲ便利トシ唯但書ニ揚グルカ如キ不便ナキ限りハ現物ニハ分割ヲ爲スコトヲ要スルモノト定メタリ但其別段ノ場合ニ履行ヘキ號賣ノ手續ハ他ノ場合ニ付テモ之ヲ定ムルノ必要アルヘキヲ以テ之ヲ特別法ニ譲リタリ

第二百五十九條

(理由) 本條ハ便宜ノ規定ト認メ獨逸民法草案ニ倣ヒ之ヲ設ケタリ蓋シ共有者ノ一人カ共有ニ基ケル債權ヲ有スルトキハ分割前ニ於テハ第二百五十三條第二項及ヒ第二百五十四條ニ依リテ保護ヲ受ク

ルコトヲ得ヘレト雖モ場合ニ依リテハ述ニ辨證ヲ得ルヲ欲セサルコトヲサヘタ或ハ又分割ノ目前ニ追ルトキハ其保護ヲ受クルコト能ハサル場合アルヘシカル場合ニ於テハ其共有者ノ分割ノ際ニ辨證ヲ受クルコトヲ得セシムル方法ノ定アルヲ至當トス既成法典ニ於テハ即チ此ノ如キ場合ニ於テ分割者ノ爲メ先取特權ヲ認メタリト雖モ先取特權ヲ實行スルニハ多少ノ時日費用等ヲ要ス寧ろ分割ノ未結了セサル前ニ於テ償還ヲ受クルコトヲ得セシムルノ簡便ナルニ若カス是レ本條ノ規定ヲ設ケタル所以ナリ

第二百六十條

(理由) 本條ノ規定ハ既成法典ニ缺アル所ナリ然レトモ若シ共有物ノ買見權ヲ有スル者ノ如キ共有物ニ付キ權利ヲ有スル者又ハ共有者ノ債權者カ自己ノ費用ヲ以テ分割ニ參加スル以上ノ敵テ他人ノ害スル弊ナキノミナラス正當ノ範圍ニ於テ其權利ヲ保持スルニ付キ利益少ナカラザルヲ以テ之ヲ置ケリ

第二百六十一條

(理由) 本條ハ財産取得編第四百十八條ニ少ク修正ヲ加ヘタルモノナリ既成法典ニ於テハ共有者ノ擔保ノ責任ニ付キ其責任ノ限度・條件等ノ事ヲ規定セシムルニ於テ乎賣主ノ擔保義務ニ關スル規定ニ準用スルコトヲ得ヘキヤ否ヤニ付キ疑アリ蓋シ既成法典ニ於テハ分割ヲ以テ認定ノ效力ヲ生スルモノト爲シタルカ爲メ別段ノ規定ナキ限ハ賣主ノ擔保義務ニ關スル規定ニ之ニ準用スルコト能ハサルカ

第二百六十二條

如レ本條ニ於テハ分割ヲ以テ權利移轉ノ效力ヲ有スルモノトシタルニ因リ此點ニ付キ買賣ノ規定ヲ準用スヘキコトヲ明ニセシカ爲メ茲ニ賣主・買主ノ間ヲ云々ノ數字ヲ加ヘタリ

第二百六十三條

(理由) 本條ハ財産編第四百十五條ニ聊カ字句ノ修正ヲ加ヘタルモノニ過キス苟モ共有者一人ノ要求ニ依リ分割ヲ爲スヘキモノトシタル以上ハ民法上ノ義務トシテ證書ヲ保存スヘキ者ヲ定ムルノ必要ナルコトハ疑フ存セサルナリ

第二百六十四條

(理由) 數人カ或物ニ付キ共有スル權利ハ多クハ所有權ニ外ナラス雖モ占有權其他ノ權利ニ付テモ亦之ヲシテモ面シテ本條ノ規定ハ其權利ノ性質又ハ法令ノ規定ニ反セサル限り此等ノ權利ニモ適用スヘキモノトスルノ至當ナルコト論フ俟タズ是茲ニ此規定ヲ置キタル所以ナリ